

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11282

市民会館建設事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	2	芸術・文化活動環境の整備充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	市民会館費		
	大事業	市民会館事業		
	中事業	市民会館建設事業		

事業種別	継続		関連個別計画	伏虎中学校跡地活用基本構想、市民文化交流センター基本計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課 坂井 正二	435-1194
事業実施の根拠法令	関連課			政策調整課、商工振興課、都市再生課、教育施設課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	老朽化が進む市民会館の機能を集約し、市民の芸術文化活動を発信する場として、また賑わいの文化交流拠点として新市民会館の整備を進める。		伏虎中学校跡地に市民会館（仮称）市民文化交流センターとして「地域交流センター（ホール機能）」と「まちおこしセンター（コンベンション機能）」を複合した施設として計画・建設する。			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		基本計画 基本設計	基本設計 実施設計	新市民会館建設に向けて実施設計・建設工事を行う。	新市民会館建設に向けて建設工事・工事管理等を行う。	新市民会館建設に向けて建設工事・工事管理等を行う。

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	91,747	15,876	456	83,361	106,300	137,954	2,490,191	0	5,565,270	0	
伸び率（%）	0%	0%	△99.5%	425.1%	23,211.4%	65.5%	2,242.6%	△100%	123.5%	0%	
人件費	正規職員	8,266	8,266	9,811	10,688	8,312	21,419	22,538	0	22,538	0
	正規職員以外	0	0	949	475	0	0	0	0	0	0
	小計	8,266	8,266	10,760	11,163	8,312	21,419	22,538	0	22,538	0
国庫支出金	0	0	0	43,608	51,900	61,492	226,800	0	796,120	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	8,300	48,100	67,800	2,252,000	0	4,278,200	0	
その他	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	
一般財源（税等）	91,747	15,876	456	31,443	6,300	8,662	11,391	0	490,950	0	
所要人数 （人）	正規職員	1.04	1.04	1.23	1.34	1.04	2.68	2.82	0.00	2.82	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.38	0.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	調査設計委託料 105,760千円 平成29年度から平成30年度へ繰越 31,730千円 等										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
視察件数	件	目標値		4	5	2	2	
		実績値		9	6			
		達成度(%)	%	225%	120%	0%	%	
計画・設計策定	件	目標値	1	1	1			
		実績値	1	1	1			
		達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%	
建設工事着手	件	目標値			1	1		
		実績値			0			
		達成度(%)	%	%	0%	0%	%	

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	「にぎわいの文化交流拠点」として令和3年度の開館を目指す。
見直し・改善内容	事業費の財源の一部として国庫補助金の確保に努め、市の負担軽減を図るとともに、市民が利用しやすい施設となるよう整備する。